

全身症状と蕁麻疹を経て睡眠と皮膚状態が戻った成人アトピー喘息の経過 (31 歳男性)

症例 ID：001-30-IYo | 記録日：2003 年（日付不明）

1. 診断・治療前経過

小学校 3～4 年頃にアトピー症状がありましたが、大学時代にはほとんど出ていませんでした。就職後、両肘、膝裏、太もも、首筋などへかゆみが広がりました。

2001 年 4 月頃から入浴後や食後に全身へ赤い発疹が出るようになり、顔にも症状が現れました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	2001 年に皮膚科でステロイド外用薬を処方され、短期間使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	松本医院受診前の短期間です。
中止時期	2001 年 6 月頃の受診時に中止しました。
来院前／後	来院前に短期間の使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小学校 3～4 年頃	来院前	アトピー症状がありましたが、積極的な治療は行いませんでした。
就職後	症状拡大	両肘、膝裏、太もも、首筋などへかゆみが広がりました。
2001 年 4 月頃	来院前ピーク	入浴後や食後に全身へ赤い発疹が出て、顔にも現れました。
2001 年 6 月頃	治療開始	煎じ薬、外用薬、消毒、漢方風呂による治療を始めました。
治療開始約 1 か月	リバウンド期	全身が黒く乾燥し、掻くと血や浸出液が出て、顔も腫れ、夜眠れない状態になりました。
9 月下旬以降	回復傾向	顔の腫れが引き、浸出液の量が減り、夜も眠れるようになりました。
約 1 年後	経過後	掻いても浸出液が出なくなり、数日で元の皮膚に戻るようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始約 1 か月後に全身の乾燥・腫れ・浸出液が強く、夜間に眠れなかった時期です。

5. 困りごと

- 顔を含む全身に症状が広がり、営業の仕事で人前に出る負担がありました。
- 強いかゆみと浸出液により、夜間の睡眠が大きく妨げられました。

6. 経過のまとめ

9月下旬以降は顔の腫れと浸出液が減り、夜に眠れるようになりました。

治療開始から約1年後には、掻いても浸出液が出ず、傷も2～3日で元の皮膚に戻るようになり、半袖で過ごせるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。